

知事会議等の開催概要について

1 東海三県一市知事市長会議

(1) 概要

1月16日(月)にKKRホテル名古屋(愛知県名古屋市)において、平成23年度東海三県一市知事市長会議が開催され、「災害時の帰宅困難者対策について」、「ドクターヘリの広域連携について」などについて議論が行われました。

また、鈴木知事から「海岸漂着物対策について」として、伊勢湾の海岸漂着物の発生抑制などについて、三県一市での連携を強化し取り組んでいくことを提案し、今後事務レベルでの協議を進めていくこととなりました。

(2) 合意事項及び今後の取組

【議題1】災害時の帰宅困難者対策について

東日本大震災において首都圏を中心に帰宅困難者が多数発生したことを踏まえ、相互間の通勤・通学が行われている東海三県一市での連携した取組みについて議論されました。

議論の結果、まず名古屋駅をモデルとした対策を検討するため、担当者レベルでの検討会を開催することが合意されました。

【議題2】ドクターヘリの広域連携について

広域的な救急医療体制を充実するため、ドクターヘリの相互応援を中心とした連携強化のあり方などについて議論されました。

議論の結果、他地域での連携事例を参考にしながら、自治体、医療機関、消防など関係者による話し合いの場を設けて検討していくことが合意されました。

【その他事項】海岸漂着物対策について

鈴木知事から、鳥羽市答志島などにおける海岸漂着物の発生源の大半が、伊勢湾流域圏であると想定されることから、東海三県一市が連携して、発生抑制対策などを検討するための担当部局による検討会の設置や、「海岸漂着物処理推進法」に基づく積極的な国の関与の要望などを行うことが提案され、伊勢湾総合対策協議会などの既存の組織を活用しながら、協議を進めることとなりました。

2 第2回紀伊半島大水害の復旧・復興に関する国・三県合同対策会議

(1) 概要

1月17日(火)にスイスホテル南海大阪(大阪市)において、第2回紀伊半島大水害の復旧・復興に関する国・三県合同対策会議(国土交通省、農林水産省、内閣府、総務省、文部科学省、厚生労働省、経済産業省、環境省、三重県、奈良県、和歌山県で構成)が開催され、関係府省から前回の会議で三県から提案された共同提案に対す

る取組状況等の説明があり、それらを受けて意見交換がなされました。

鈴木知事は、近畿自動車道紀勢線の未整備区間の早期事業着手、被災中小企業への直接支援、水道施設に係る災害復旧への財政支援等について要請しました。また、熊野川・相野谷川の治水対策等について、地元の意見を十分に聞いて進めてほしい旨要請しました。

意見交換では、森本農林水産大臣政務官から、災害に関する法令、政省令が今の生活と乖離し、制度疲労を起こしているので、抜本的な見直しが必要ではないかという発言がありました。

(2) 関係府省の説明

【国土交通省】

- ・アンカールートについては、「今後の高速道路のあり方中間とりまとめ」において、「脆弱な地域の耐災性を高めるネットワーク機能の早期確保」と盛り込まれたので、それに基づき事業を進めていきたい。また、電源開発(株)が中心となって設置した「ダム」の操作に関する技術検討会」では5月に中間報告を出す予定。

【農林水産省】

- ・これほどの規模の災害であるにも関わらず、査定が年内に完了したことに対し、査定を受けられた事務当局の努力に敬意を表したい。
- ・傾斜20度以上の農地について、政令改正で対応した。

【文部科学省】

- ・世界遺産への広範な補助は、大規模防災対策事業として予算要求したが、認められなかった。今後、法令改正や運用改善などで対応を検討していきたい。

【厚生労働省】

- ・暴風雨では、地下に埋設されている水道施設が直接被害を受けることは少なく、また、大規模地震のように広域的かつ壊滅的な被害には繋がりにくいと想定している。ただし、今回の被害の大きさを勘案して早期復旧のため、査定事務の軽減化を図ることで対応した。

【経済産業省】

- ・被災中小企業への直接的な支援については、関係省庁と相談をして考えていきたい。

(3) 今後の対応

災害に係る法令等の制度の見直しについて、三県で連携し、国へ提案していく予定です。